

みどりの杜俳句会

朝寒や骨身に沁むる季を迎ふ

白石 礼子

山茶花の一弁散るも淋しかり

佐山ヶサ子

葛の花葉と葉の隙を立ち上がる

梅澤 きくえ

花弁張りありカットグラスの孔雀草

田村 好子

甘唐辛子先細くなり下がりおり

鈴木 啓子

遠くよりほのか漂ひ金木犀

木村 弘子

朱の実一つづつ愛らしや山法師

西 ツル

しその実の枯れて香りの清漬し

松本 孜子

肌寒し百才近き誕生日

高橋 ツ子

山茶花のひだの可憐やこぼれ継ぐ

吉田 愛子

雨もよひ誰も通らず薄寒し

飯野はつ志

土手草の中に紛れず葛の花

落合 七郎

孔雀草八重咲き生けて窓のそば

今村千鶴子



蔓搖らし籠に受けたる零余子かな

関口 侑子

金胡麻の莫薺に干しあり村日和

野口利江子

夕暮れや音なく溜むる糸瓜水

小宮 勉

運動会ポンポン持つ子のダンスかな

神田 昌美

青空の四方紅葉や意気高し

小林 一樹

秋空や秩父セメント煙立つ

岩崎 真人

蜂谷柿の説明書添へ直売所

土屋 厚子

滑空の鷹昇り行き目を凝らす

初雁 功子

幼ならぬ掛稻穂り虫取りす

山田 美子

未知のウイルスへの不安や恐怖によつて、感染者やその家族、濃厚接触者や医療従事者などに対する誹謗中傷や偏見・差別といった心ない言動が大きな問題となりました。誰もが感染者、濃厚接触者になることがあることから、他人への偏見がいづれは、自分へ向かう可能性があります。不正確な情報に振り回されることなく、冷静な対応が求められます。

現在、ウイルスの感染拡大、収束を繰り返しながら、世の中はウイズコロナを合言葉として、新たな生活様式が定着しつつあります。以前のような生活は取り戻せないかもしれません、自主的な感染予防対策やワクチン接種を通じて、平穏な日常生活が訪れることが願っています。

東秩父村税務会計課長 野沢 秀信

人権シリーズ

398

『新型コロナウイルス感染者への偏見』

2020年初め、中国で新型コロナウイルスの感染が拡大しているニュースが流れました。ウイルス感染を恐れ、自宅への訪問者に対して、「来るな」と大声で叫ぶ女性をテレビで見ました。大変な状況になつてゐるな、と他人事のように思つていました。これ以前にも、新型インフルエンザが発生した際、日本では大事には至りませんでした。今回も同様に沈静化するのではないかと考えていました。その後、全世界で新型コロナウイルスが感染拡大し、日本でも感染者が増え続け、緊急事態宣言が発令され、外出できない等の不自由な生活を余儀なくされました。



東秩父村教育委員会開催のお知らせ

日 時 12月22日(木)午後1時30分～

場 所 役場2階新会議室

問合せ 教育委員会事務局 ☎82-1230